



院内インフォメーション

新緑が目にまぶしい季節となりました。清々しい風と共に、当院にあらたに入職した医師を紹介します。皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。

4・5月度 新入職医師紹介



呼吸器内科 部長
伊藤 貴文

循環器内科 不整脈センター長
小野 盛夫

循環器内科
藤岡 立樹

循環器内科
石川 貴将

整形外科
久保 祐太朗



NO IMAGE
諸事情により写真の掲載を控えております

NO IMAGE
諸事情により写真の掲載を控えております

NO IMAGE
諸事情により写真の掲載を控えております

NO IMAGE
諸事情により写真の掲載を控えております

臨床研修医
角田 美友

臨床研修医
保住 優花

臨床研修医
長谷川 聖

臨床研修医
飯塚 達也

編集後記

早いもので今年も半年が経ち、緑地に咲いた紫陽花を眺めては、梅雨の到来と時の早さを感じます。就職や就学等、新生活を迎える中で、これまでにない様々な経験をしてきた時期だという方も多いのではないでしょうか。生活面においても何かと悩まされるこの時期ですが、夏の訪れが感じられる四季折々の日本だからこそ、おもい出しが見つけて気分をリフレッシュしてみるのも良いですね。季節の変わり目で体調の変化も起りやすくなるかと思いますがお身体ご自愛ください。

広報戦略部 白井

当院の基本理念

私たちの病院の使命-Mission-
質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。



日本医療機能評価機構
認定病院 (3rdGVer.2.0)



JQA-QMA14243
ISO9001:2015
認証取得病院



ピンクリボン運動
を応援します。

ハカリ

vol.139
2024.5

ご自由にお持ちください

Kikuna Memorial Hospital News Letter



Contents



- 特集
石崎新院長
就任のご挨拶

- 看護部だより
- 教えて!ファーマシー通信 vol.1
- KMH -NEWS-
- KMH -TOPIC-



特集
Special Feature

皆さんに安心感を
持っていただけるよう
さらなる研鑽を重ねてまいります

新院長 就任のご挨拶

この度、院長職を拝命いたしました石崎と申します。私は20数年間を菊名記念病院の脳神経外科で過ごしてきました。

菊名記念病院は、1991年開設の急性期医療特化型の病院で「良質で信頼される高度医療の提供」「安心と思いやり」「質の高い急性期医療を提供して地域医療の発展に貢献する」を念頭に24時間365日、緊急手術・カテーテル治療にも対応可能な診療体制を整えております。



ここ数年間は新型コロナウイルス感染症のため病院の体制のみならず、社会構造・コミュニケーション・働き方などが大きく変化しました。社会的には新型コロナウイルス感染症の法的取り扱いが変更され、数年に渡って続いてきたパンデミックも終わろうとしています。

ただ、同感染症が消滅するわけではないため、これからも小さな流行の波を繰り返すと思われ、病院内の感染対策はしばらく継続する必要があります。

これらのこととききっかけとなり、タスクシフト・シェアに留まらず、仕事そのものの効率化も重要な課題となり、業務改善やDX(デジタルトランスフォーメーション)の導入が必要になってきています。壮大な構想というよりは「こうできたら便利な上、本来の病院機能がよりスムーズにいくであろう」という観点から、少しずつ快適な環境を作っていくべきだと思います。



心臓と脳は循環器系として連動しており、時には心筋梗塞と脳梗塞が同時に起こってしまう、不整脈が原因で脳梗塞になってしまふことがあります。

その際には速やかに循環器内科・脳神経外科が連携し、同時に治療をしていくことも可能です。

また外傷についても多発してしまうことが多く、整形外科・脳神経外科が共に診療に携わり、外傷であっても元来、持病をかかえているらしく、際には、各々の専門科が皆でディスカッションを交わしながら治療をすすめています。



このような関係は医師間のみならず、多職種でのチーム医療としても実践しています。

入院が必要となった際には入院サポートセンターで、内服薬や入院中の過ごし方を説明させていただき、退院後の生活のことや社会復帰支援についてはリハビリテーションスタッフや薬剤師、看護師、栄養士、ソーシャルワーカーといった専門家がそれぞれ、説明をさせていただいております。

病院スタッフ皆で力を合わせて、誠実に病気や怪我と向き合い、皆さんに安心感を持っていただけるよう、これからもさらなる研鑽を重ねてまいります。



また、かかりつけ医の近隣の先生方、回復期・慢性期医療、在宅医療を担う地域医療機関や介護施設等とも密に連携し、共に協力しあって、患者さまの治療に当たる体制もしっかりと継続し、これからも皆さんに選ばれ、愛される病院作りとさらなる地域医療への貢献を目指してまいります。

菊名記念病院をどうぞよろしくお願いいたします。

菊名記念病院 院長
石崎 律子

1993年東京女子医科大学卒業後、同大学脳神経センター脳神経外科医局入局。脳卒中の超急性期治療に尽力する日々。趣味はサーフィン。
日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医

看護部 だより

新しい
看護部の
仲間が
加わりました!

副看護部長
長谷川 紀子



4月に入職式が行われ、菊名記念病院の看護部に既卒者を含む合計38名が仲間に加わりました。入職式後は、全職種合同の病院オリエンテーションが行われ、社会人・組織人・医療人としての心構えと安全な医療を提供するために必要な基本的知識・技術を学習しました。新人看護師は、5月末まで集合研修を重ね6月より各病棟に配属となります。
お一人おひとりを大切にした良質で信頼される看護の実践を目指し、日々学んでおりますので、どうぞ新人看護師を温かく見守って頂きますよう、お願い申し上げます。

入職式会場



新入看護師達による看護部の自己紹介カードを制作して掲示しています。



新人研修の様子



昼休憩を挟み、午後は各部門の責任者などによる講習会を行いました。

具体的な受講内容は、病院・施設で働く上で必須となる「感染対策講習」と「医療安全講習」、そして社会人として大切なコミュニケーション能力を身に付けるための「新人研修」です。どの講習も、医療業界で働く上でかかせない、基礎知識がつまっています。どんな時も患者さまや利用者さまの安心・安全を守り、正しいケアやサービスの提供ができるよう、しっかりと知識の基盤を身に付けていきたいと思います。

感染対策講習

医療安全講習



教えて!

ファーマシー通信 vol.1

監修:薬剤部

新型コロナウイルス感染症の治療薬について



新型コロナウイルス感染症に対する治療薬の費用が公費負担ではなくなったことを皆さんご存じですか?テレビなどでも取り上げられている為、知っている方も多いかと思います。今回は同感染症の治療薬について、費用を含め改めてご紹介します。

・治療薬の種類

新型コロナウイルス感染症の治療薬には、複数の種類があります。患者さまの症状や、他の薬との飲み合わせや既往歴を鑑みて、適切なものが処方されます。

経口薬

- ラグブリオ®カプセル
- パキロビッド®パック
- ゾコーバ®錠

注射薬

- ベクルリー®点滴静注用

・2024年4月1日からの変更点

通常の医療体制に移行し、公費負担は終了しました。医療費の自己負担割合に応じた、通常の窓口負担額となります。治療薬は、医師が必要と判断した方に使用されます。

新型コロナウイルス感染症の治療薬は高額なものが多いですが、高額療養費制度など家計に対する医療費の自己負担が重くならないよう上限額を超えた場合、その超えた額を支給する制度もあります。わからないことやお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

【治療薬の負担額】

(※2024年4月の薬価)

薬品名	3割負担の方	2割負担の方	1割負担の方	お薬の特徴
ラグブリオ® カプセル 200 mg	28,293.6 円	18,862.4 円	9,431.2 円	・妊婦の方に使用できない
パキロビッド® パック 600/300	29,708.25 円 ^{※1}	19,805.5 円 ^{※1}	9,902.75 円 ^{※1}	・飲み合わせに注意が必要
ゾコーバ®錠 125 mg	15,555.54 円	10,370.36 円	5,185.18 円	・飲み合わせに注意が必要 ・重症化リスクがない方にも処方可能 ・妊婦の方に使用できない
ベクルリー® 点滴静注用 100 mg	55,797.6 円 ^{※2}	37,198.4 円 ^{※2}	18,599.2 円 ^{※2}	・軽症でも重症化リスクがある方や肺炎を発症している方が対象

※2024年4月時点での薬価を元にした1治療当りの金額で計算

※1 パキロビッド®パック600の場合(パキロビッド®パック300は腎機能が中等度に低下している方に対して使用)

※2 軽症患者に対して標準的な投与期間で使用した場合

菊名記念病院のHOTな
ニュースをご紹介します。



NEWS1 | 3/11 | 院内症例検討会

第158回の院内症例検討会を開催しました。今回は『能登半島地震 JMAT活動報告』というテーマで、1月の能登半島地震の災害支援報告を行いました。当院からは副院長・藤岡医師が参加し、被災地や各医療機関の置かれている厳しい状況を痛感しました。我々に何ができるのか・災害支援とはどうあるべきか、今後も真剣に考え続けていきたいと思います。



NEWS3 | 4/1 | YMG 入職式

4月1日にグループ全体の入職式を執り行いました。本年は菊名記念クリニック講堂での対面形式とオンライン参加の併用型で行われ、晴れて182名のフレッシュな新入職員がYMGの仲間に加わりました。グループの職員を代表して、当院の職員が辞令交付の受け取りと新入職者代表挨拶を務めました。この日の初心を胸に、全員で切磋琢磨しあい職務に励んでいきたいと思います。



院内行事はすべて、定期的な検温 / 手指消毒 / マスク着用など、感染防止対策を徹底して実施しております。

NEWS2 | 3/16 | 第8回 事務研究発表会

YMGでは、毎年3月半ばに事務研究発表会を行っております。事務研究発表会は、YMG内の事務職が互いの知識を交換・共有しあいより研鑽を深めるための機会として誕生しました。参加者はいくつかのグループに分かれ班ごとにテーマを掲げ1年間の研究を通じて得た成果・検証結果を発表します。各病院・施設からは全12種の演題の発表があり、採用に関するもの・業務効率化を目指すタスクシェアに関するものなどを中心に、学タイムリーな話題が出揃いました。ここで得た知識を活かし、日々の業務に繋げていきたいと思います。



NEWS4 | 4/13 | 保育室 外遊び

今年は桜の開花が例年よりも遅く、戸外活動中に季節の花に多く触れ楽しむ事ができました。散り始めた花びらを拾い集め頭上へ投げて舞う様子を楽しんだり、ひとつひとつをじっくり観察したりと、大喜びの子どもたちでした。



NEWS5 | 4/3 | 消防訓練

今年も新入職員を対象に消防訓練を実施いたしました。あいにくの雨であった為、水出し消火器を使って実際に放水することはできませんでしたが、消火器の操作方法や院内に設置されている消火器・散水栓の場所を確認して、有事災害時に対応ができるよう訓練いたしました。「火事だー！」と大きく叫び周囲に助けを求めるよう伝えると、懸命に声を出して危険を伝える職員もあり、実りある訓練となりました。今後も有事の際に備えて、しっかりと対応方法を身に付けていきたいと思います。



BREAK1 | BREAK1

今月の表紙紹介



5月号の表紙は..

『初夏とあやめ』

ゴールデンウィークも終わり
いよいよ夏の足音が近づいて
参りました。

あやめの織りなす青と紫の
優美なハーモニーが
爽やかな初夏の訪れを
予感させてくれます。



BREAK2 | BREAK2

診療担当表

当院の外来は、完全予約制です。曜日ごとの診療スケジュール、ご予約窓口の番号は、隣に記載されて
いるQRコードからご参照いただけ
ます。

携帯やスマートフォンから
アクセスが可能です。



KENSAN - 研鑽 - volume 14

当院では様々な人材育成研修に取り組んでいます。院全体で次世代スタッフを育てるべく工夫して立案し参加者も真摯に研鑽を積んでいます。当コーナーではその学びの様子を紹介します。

KENSAN1 | 4/20.27 | 入材開発室主催研修 KYT

KYTとは危険の「K」、予知の「Y」、トレーニングの「T」の頭文字を組み合わせたものです。前半はヒューマンエラーについての講義、後半はイラストを使ってグループ演習をしました。どこに危険が潜んでいるか職種によって気付くポイントに違いがあり、チームで協働する大切さを感じ取れた研修となりました。リスクを共有し、事故の発生を未然に防ぐための対策を全員が考えることは、組織の安全文化の醸成に繋がっていくと思います。



詳細はHPへ

携帯やスマホでアクセスが
可能ですが、PCでご覧の方は
TOPページの『イベント
一覧』からお入りください

